

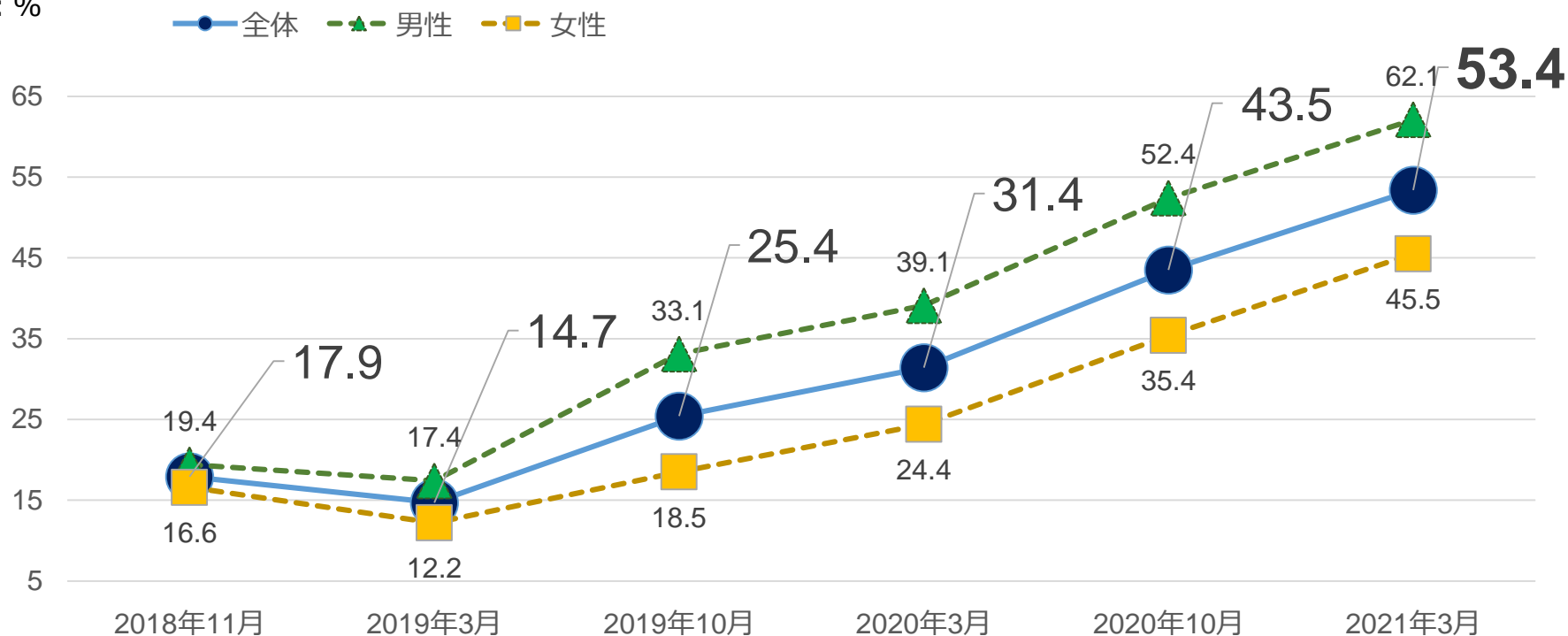
SDGs認知度調査（Qネット）

2021年3月調査

■SDGs認知度（大阪）

府民全体の認知度は、53.4%（2021年3月時点）

単位：%

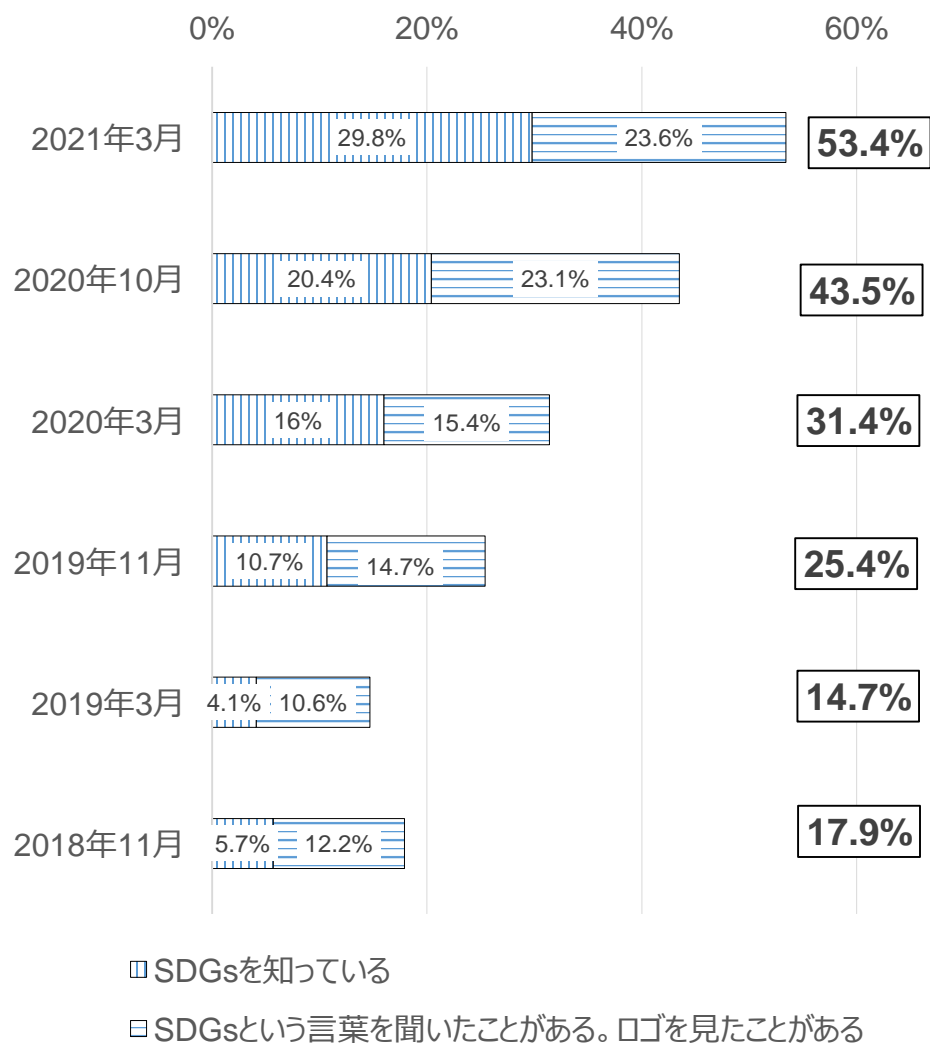


大阪府のネット調査（大阪Qネット）を活用して、府民を対象にSDGsの認知度を調査
（対象者条件：18歳以上の男女、サンプル数：1,000名）

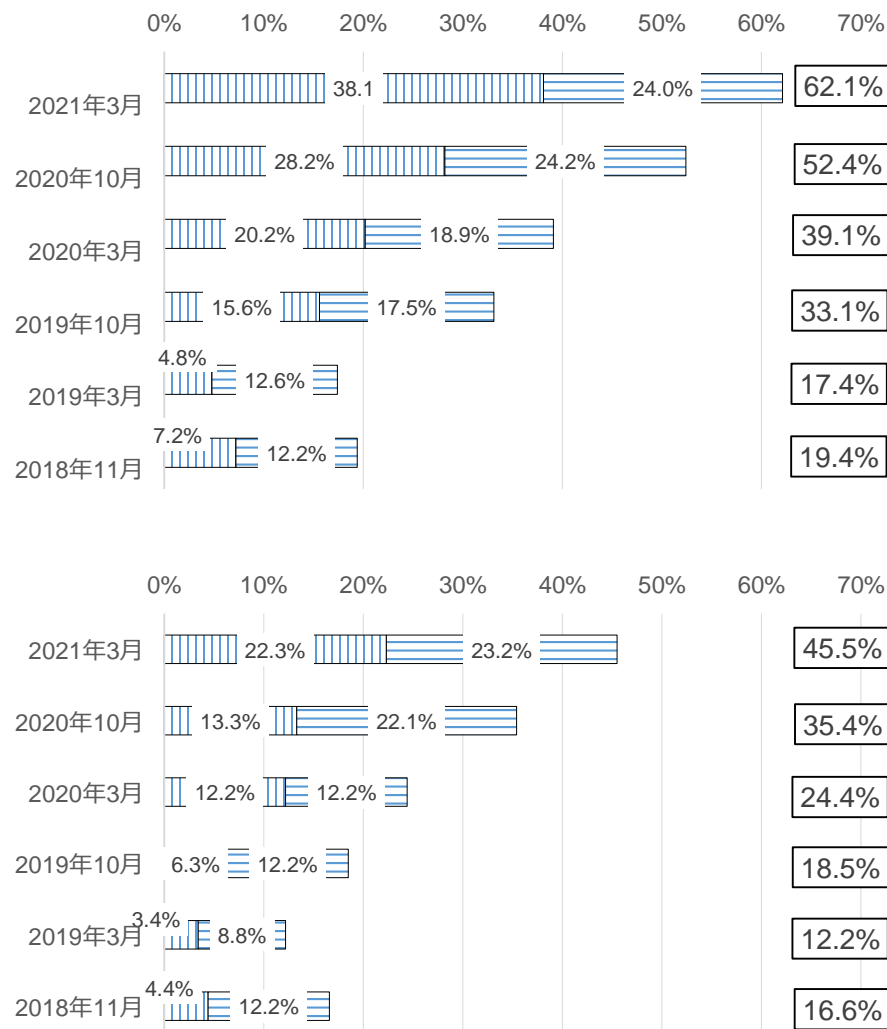
○府民全体の認知度は直近調査で53.4%

○男女別では、男性の認知度が高い傾向を示している。（男性：62.1% 女性：45.5%）

■ SDGs認知度（全体）



■ SDGs認知度（性別）



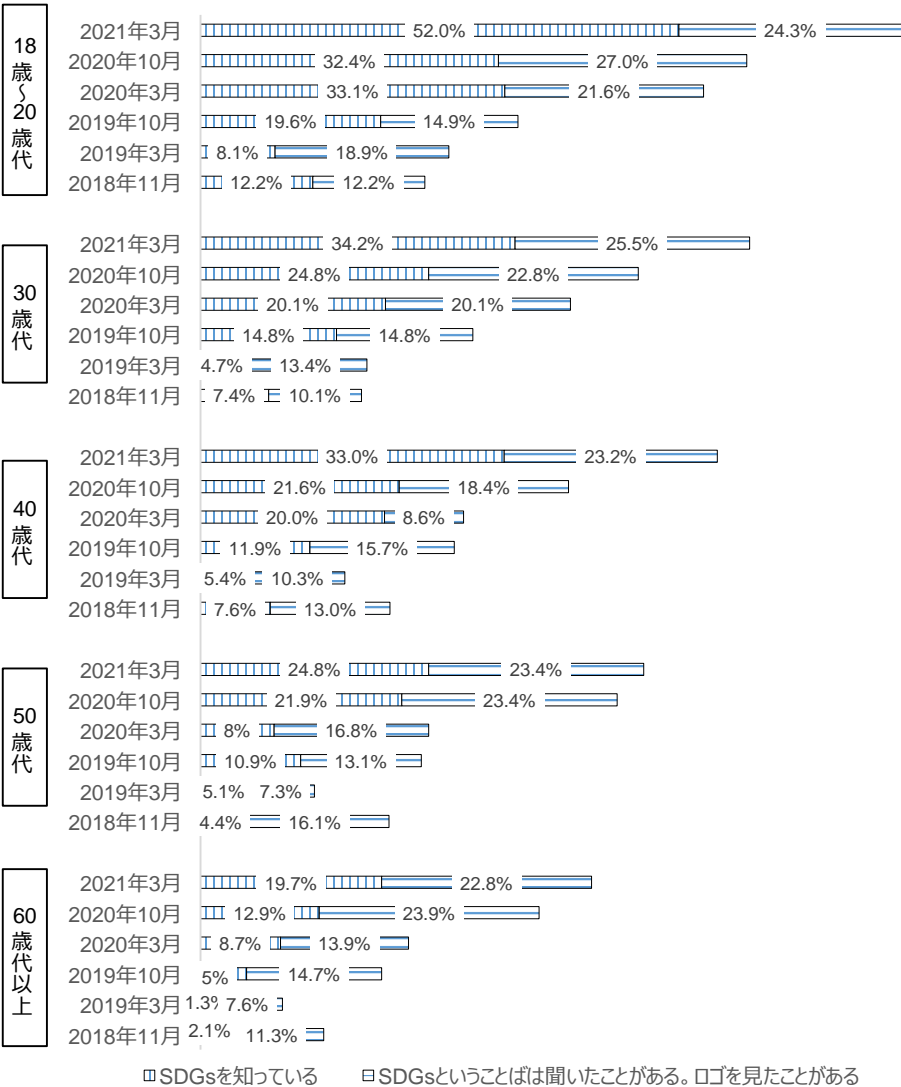
男性
(475人)

女性
(525人)

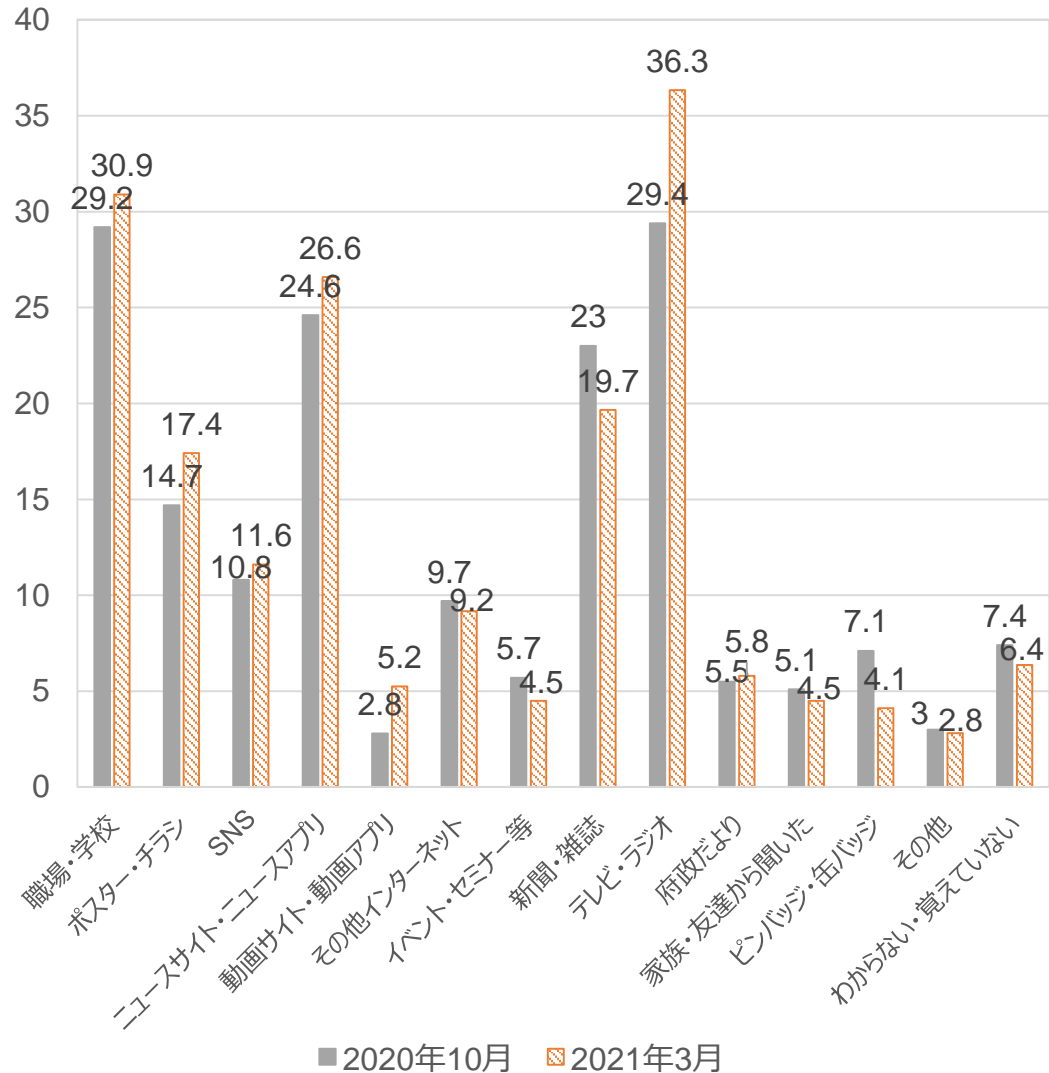
○年齢別では若者の方が認知度が高い傾向にある。

○SDGsを知るきっかけでは、「職場・学校」、「ニュースサイト・ニュースアプリ」、「テレビ・ラジオ」の割合が高くなっている。

■ SDGs認知度（年齢別）



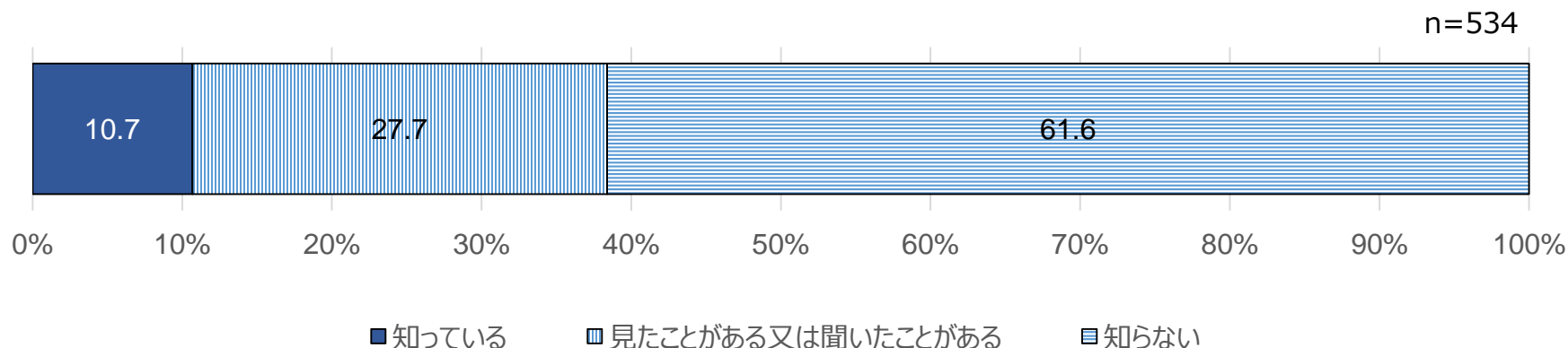
■ SDGsを知ったきっかけ



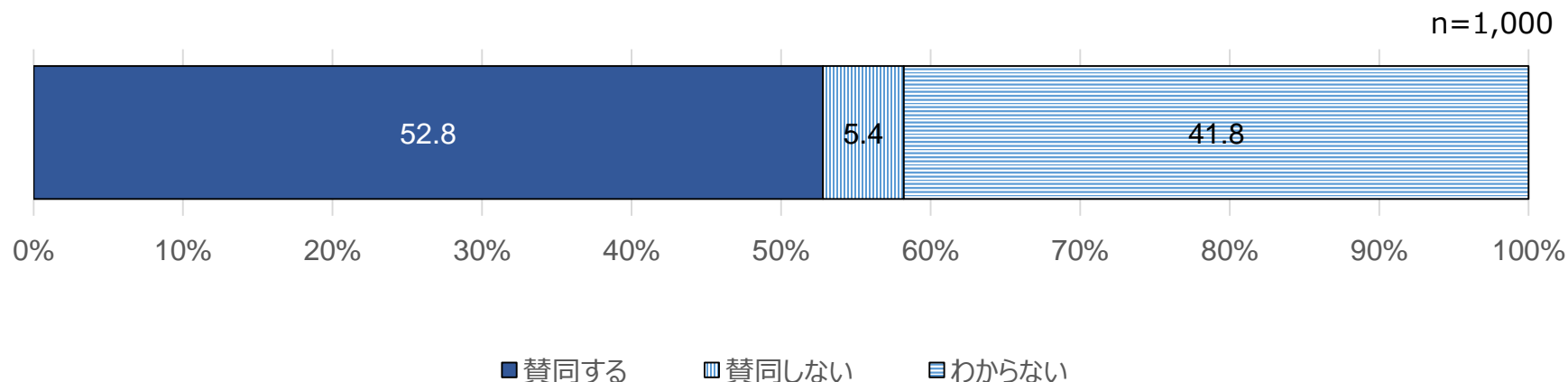
○大阪SDGs行動憲章の認知度は、38.4%。

○行動憲章の趣旨に賛同していただける方は、52.8%。「わからない」を除くと、90.7%の割合で賛同する結果であった。

■大阪SDGs行動憲章の認知度

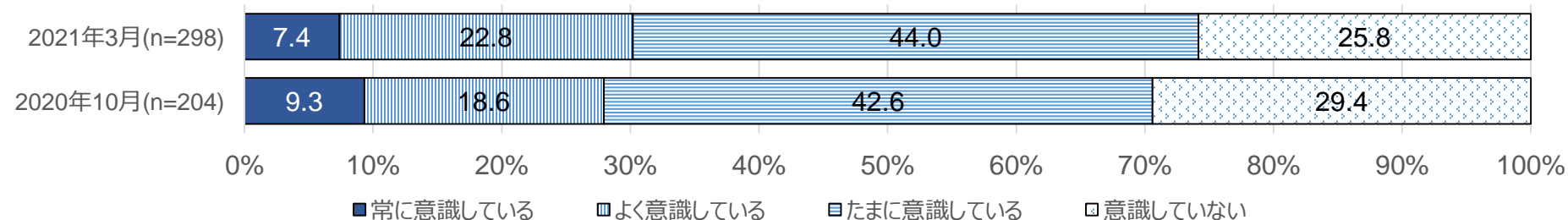


■大阪SDGs行動憲章の趣旨への賛同率

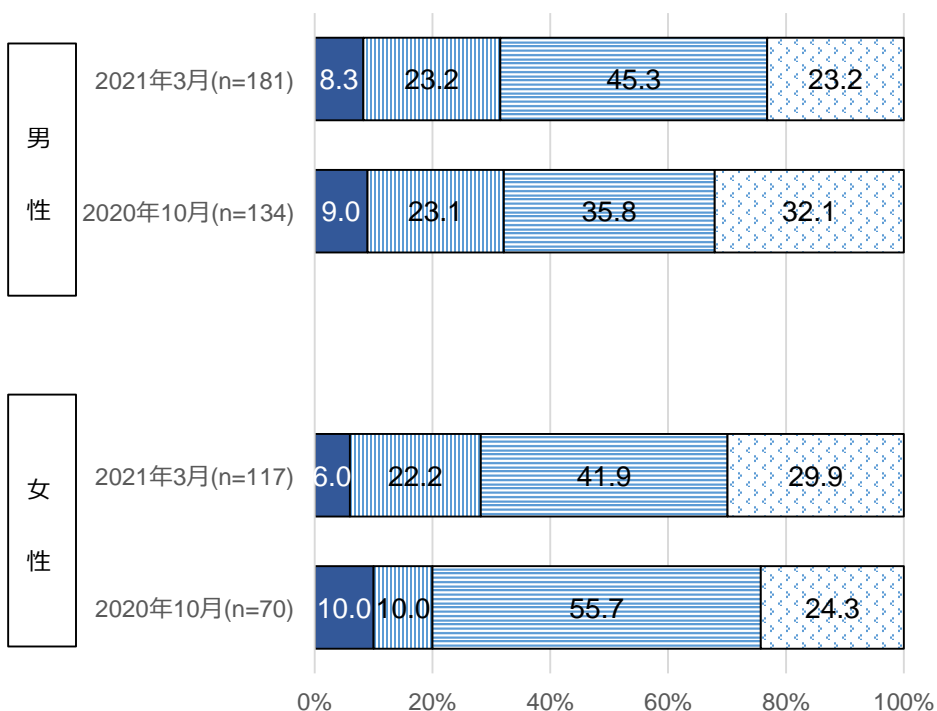


○SDGsを知っていた人の中で、SDGsを意識して行動している割合は、74.2%。

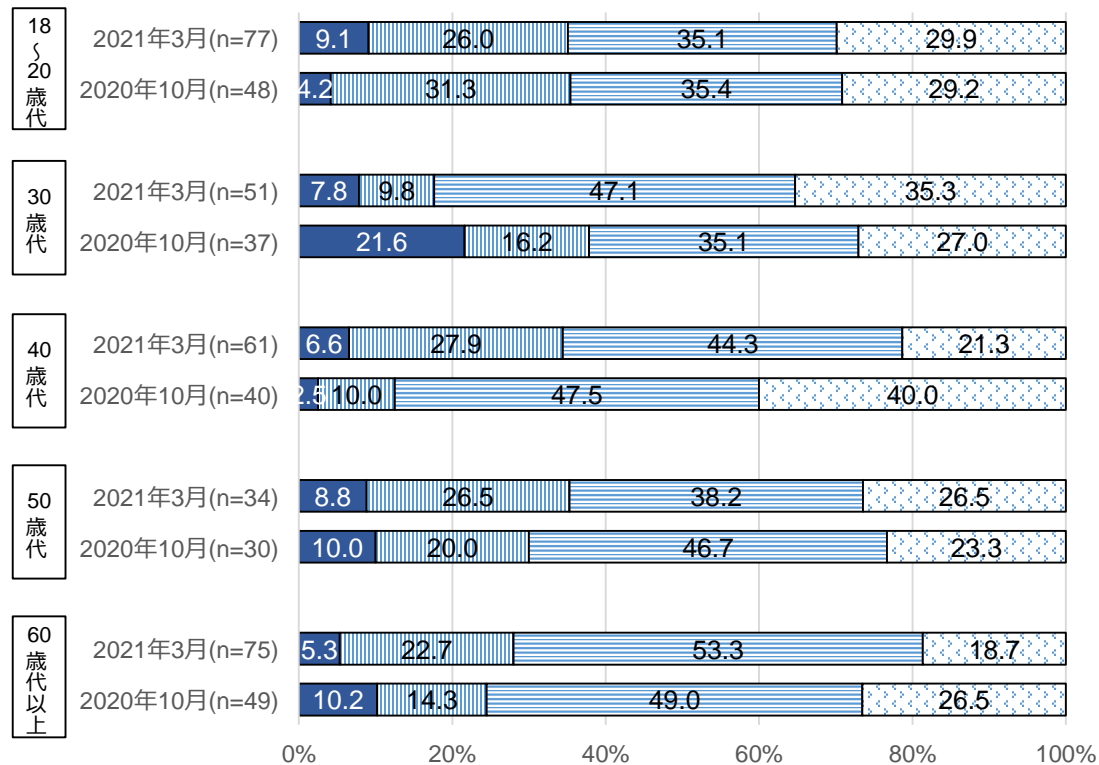
■SDGs意識度（全体）



■SDGs意識度（性別）



■SDGs意識度（年代別）



■ SDGsを意識して行動していること（主な意見）

○2020年10月結果

- ・ 自分の健康のために、環境（車による排気ガスの削減）のために歩く。
- ・ 3R（リデュース、リユース、リサイクル）を意識して行動する。
- ・ レジ袋を削減するため、エコバックを使用する。
- ・ 詰め替え用など、ごみを削減できる商品の購入する。
- ・ 賞味期限の近い商品を購入する。
- ・ 食品ロスの削減などのため、必要最低限のものしか購入しない。
- ・ エアコンの冷暖房の温度を抑える。
- ・ 再生エネルギーの活用や、ハイブリット車を使用する。
- ・ 次世代（子ども）への教育・学習支援を行う。
- ・ 貧困や飢餓問題など、募金（寄附）活動に参加する。
- ・ 幸福を追求して行動する。
- ・ SDGsを推進するため、SDGsバッジを身に着ける。

○2021年3月結果

- ・ 食べ残しをしない。
- ・ できるだけサステナブルフードを食べる。
- ・ 省エネのためにエレベーター、エスカレーターを使用しない。
- ・ ペットボトルキャップを集め、買取金額の一部をワクチン代などに寄付する
回収業者に引き渡す。
- ・ 割り箸や使い捨てスプーンを使用しない。
- ・ 節水する
- ・ 洗濯洗剤を使用せず、水とマグネシウムで洗濯する。
- ・ 環境問題に取り組んでいる企業の商品や、フェアトレード商品を購入する。
- ・ 人権問題を意識する。
- ・ ジェンダー差別など、差別をなくす。
- ・ お金を使い、経済を回す。
- ・ 地産地消を進める。
- ・ 地域の清掃活動に参加する。
- ・ 家族や友人など周りの人にSDGsについて話す。
- ・ お年寄りに健康状態を聞くなどお声かけをする。
- ・ 思いやりや配慮のある言動をしたり、困っている人の相談にのる。
- ・ 自分の行動や考えがSDGsに関連しているか調べる。